

ることが難しいと述べられているので、空所では**どのように難しいかが具体的に述べられる**と推測できる。よって、アメリカの大統領になる難しさが述べられている **e** が適切である。

(4) の後には、民主主義が何らかの自由権の行使を抑圧する具体例が続くので、空所にはこのパラグラフのトピックとして、**民主主義と自由が両立しないことがあり得るという内容**が書かれていると推測できる。よって、**d** が適切である。

(5) の後には、民主主義を導入することの難しさが述べられている。それまでのパラグラフでは民主主義の導入については述べられていないので、空所には**民主主義の導入**について書かれていると推測できる。また、空所の後に However があることから、空所は民主主義の導入について前向きな内容であることも推測できる。

(6) の後には、民主主義制度の悪用の具体例が述べられているので、空所にはこのパラグラフのトピックとして、**民主主義制度は悪用されることもあるという内容**が書かれていると推測できる。よって、**c** が適切である。

(7) まですで、民主主義の導入についての内容が続いてきているので、この空所にも**民主主義の導入に関する内容**が書かれていると推測できる。

【3】 指示語や具体例から、空所に当てはまる選択肢を検討する

最後に、残った空所について、「必修テーマ 読解」の Point 《3》にならって、指示語を手がかりにして適切な選択肢を検討しよう。残った選択肢のうち、**a** については、**あるもの (= it) について最善の場合と最悪の場合が述べられている**が、その具体例は「そのもとで人々が暮らす」という内容であることから、政体に関することであると推測でき、またこの英文における「多様であり得る政体」とは民主主義のことである。この選択肢は、(2) に入れば「民主主義の多様性の具体例」という内容として適切である。

また、**f**、**g** は民主主義の導入についての文で、(5) (7) が候補となる。(5) は、民主主義の導入について前向きな内容である **f** が適切である。**g** については、選択肢中の this knowledge が何を指すのか不明なためここには不適。「必修テーマ 読解」の Point 《3》で見たように、こうした問題で指示語を意識することは大きな手がかりになる。一方、(7) に入れるならば、**this knowledge は the culture and the different ethnic groups in Iraq を指す**ことになり、そうすると「このことを考慮に入れないと民主主義の導入は失敗するが、考慮に入れば成功の可能性は高まる」という意味になり、文脈が通る。よって (7) は **g** が入る。

◀「必修テーマ 読解」
Point 《3》を確認しよう。

◀「必修テーマ 読解」
Point 《3》を確認しよう。

(2) 文脈をつかみ、適切な指示内容を判断する

Process

【1】 下線部前後の論理展開を把握する

下線部を含む文の意味は、「このことはアメリカ合衆国憲法が議論されていた時、ジェームズ・マディソンが懸念したことである。」というものである。ここから、「このこと」とはあまり好ましくない内容であることがわかる。下線部の前を見てみると、「しかしながら、民主主義が『よい』というわけではない。多数派が支配するので、少数派はしばしば犠牲になることがある。」とあり、それまでの民主主義が「よい」ものかもしれない、という流れが変わって、**民主主義が好ましくない結果をもたらし得る**、という文脈になっていることがわかる。

【2】 This の指示内容を探す

This は多くの場合、それより前に出てきた内容を指す。このことと、【1】で検討した内容を考え合わせると、This は、その直前に出てきた民主主義の好ましくない側面、すなわち「**多数派が支配するので、少数派はしばしば犠牲になることがある**」という部分を指すとわかる。この英文では、あらゆる条件下で少数派が犠牲になると述べているわけではなく、「多数派が支配するので」と条件を限定しているので、この部分は解答要素に含める必要がある。

【3】 制限字数内で解答をまとめる

This の内容をまとめる際には、「このことはアメリカ合衆国憲法が～」の下線部と代替可能になるように、「**～こと。**」とまとめるのが望ましい。少し表現を調整して、「多数派の支配の下では、少数派がしばしば犠牲になり得ること。(29字)」のようにまとめると、うまく30字に収まる。

⚠ Warning

「多数派が支配するので」という部分は、字数制限が厳しめであることから抜かしがち。字数制限から逆算するのではなく、まずは必要な解答要素を揃えることを優先しよう。

(3) challenges, power, party といった語を的確に訳す

まずは、This が主語、meant が動詞であることをつかむと、続く that は、その後 to there is 構文が続いていることから、meant の目的語に当たる名詞節を導く接続詞の that であるとわかる。

This meant that there were no challenges to the power of
 S V O
 the Communist Party, which could impose
 any policy that it chose.

○ Communist Party 「共産党」 party が「党」の意味になることは重要。communist の意味がわからなくても中国やソビエト時代